

新生児、乳児を守るための妊産婦のワクチン

静岡県立こども病院 小児感染症科 荘司貴代

静岡厚生病院 小児科 田中敏博

本康医院 本康宗信・静岡薬剤耐性菌制御チーム

通報 165 で 2024-2025 冬季のワクチンについて情報共有をさせていただきました<sup>1)</sup>。インフルエンザ、COVID-19 については、報告数が漸減していますが、RS ウイルス(RSV) 感染症については、全国も県内も漸増し、定点医療機関当たり 1 週間の報告数が、第 10 週において 1.07 人と 1 を超えたため、県から流行期に入ったと発表されました(図 1)<sup>2)</sup>。

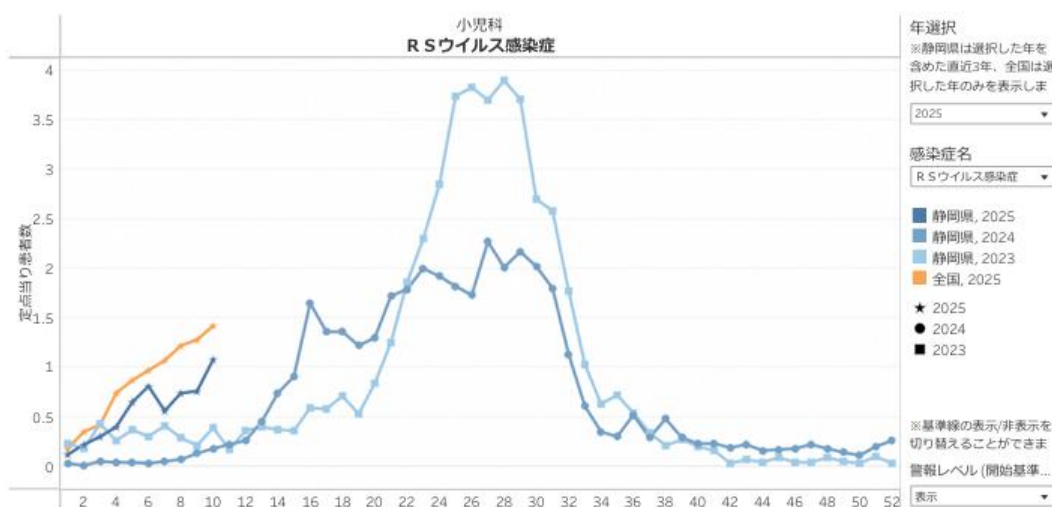


図 1 RSV 感染症の定点把握数の推移(2025 年 10 週まで)

RSV はすべての乳幼児で 2 歳前に初感染します。年齢によって病態が異なります。幼少ほど重症で、新生児期では無呼吸、乳児期には細気管支炎をきたし、生後 6 か月までに感染すると 30 人に 1 人が入院となります<sup>3)</sup>。治療薬がなく、補液や酸素投与などの支持療法を行います。感染後、6 か月から 1 年の間は、咳発作、反復性喘鳴のような後遺症が 3 割程度に見られます。6 か月未満の乳児、早産児、心肺疾患、染色体異常、血液疾患、免疫不全の既往がある場合には、重症化し集中治療が必要になることが多いです。流行期には、小児科クリニックは咳き込む乳幼児で、県内の小児科病棟は肺炎患者であふれます。2024 年の静岡県立こども病院での気道感染症による入院の 24%が RSV 感染症で、流行する 2 か月以内に集中します。乳児の重症化が半数以上を占めています(表 1)。

表 1 12 か月未満の乳児の PICU 入室(2012.2.1-2025.2.27 静岡県立こども病院)

	患者数
RSV感染症によるPICU入室	226
生後6か月未満	115 (50.9%)
生後12か月未満	138 (61.1%)

成人ではほとんどが軽症の上気道炎をきたし数日で軽快します。しかし高齢者や心肺疾患のある高リスクの成人では、インフルエンザ A 型と同様の ICU 利用率(15% vs 12%)、死亡率(8% vs 7%)になると報告されています<sup>4)</sup>。

RS ウイルス感染症に対して、予防のための 2 種類のワクチンがあります。このうちアブリスボ<sup>®</sup>は、妊娠 24～36 週の妊婦に接種が可能です。母親のからだで産生された抗体を胎盤経由で胎児に賦与し、出生した児が免疫を備えた状態となるように、という予防方法です。また、高齢者の予防対策として、このアブリスボ<sup>®</sup>とアレックスビー<sup>®</sup>の 2 種類のワクチンが使用可能となっています<sup>1)</sup>。

妊娠中にアブリスボの接種をされていない場合や接種後 14 日以内に産まれた場合には、RS ウイルス感染予防のためのモノクローナル抗体であるニルセビマブ(ベイフォータス<sup>®</sup>)の投与が考慮されます。1 回の投与で 5 か月の効果が期待されますが、RSV 感染症の流行時期の変動がありますので、主治医との相談が必要です。ただハイリスク児以外は、保険適用外となり高額となります。

百日咳についても 6 週以降、報告が続いています<sup>2)</sup>。米国では Tdap として知られるジフテリア・破傷風・百日咳ワクチンが、妊娠 27 週から 36 週間の妊婦に推奨されています。日本では、DPT ワクチンに成人への接種適応があります。百日咳ワクチンは、本邦では追加接種をしている方は少なく、多くの妊婦で抗体が低下していると考えられます。百日咳に罹患した妊婦における激しい咳嗽は腹圧を高め、早産や切迫流産のリスクを高めるとされています。生後 6 ヶ月未満の乳児では、重症化、入院、死亡のリスクが高くなります。妊娠中にワクチンで得られた免疫は胎盤を通して胎児に移行し、出生後、百日咳の定期予防接種を受けられる年齢になるまで、受動的な防御となります。

妊婦がインフルエンザに罹患すると重症化することがありワクチン接種が推奨されます。また妊婦がワクチンを接種することで胎児も胎盤を通して抗体を受け取ることができます。生後半年未満ではインフルエンザワクチン接種はできませんので妊娠期間中に接種しておきたいところです。

RSV 感染症、百日咳、インフルエンザは、新生児、乳児に罹患するとお子様だけではなく、ご家族への負担も大きいものです。RSV ワクチン、百日咳ワクチン(DPT)、インフルエンザワクチンは、任意接種のため、費用がかかります。公費補助を予定している自治体もありますが、多くはありません。RSV ワクチンは特に高価ですが、生まれてくる子供のために、洋服やおもちゃを用意するのと同様に、病気の予防も贈り物として準備するのもよいではないでしょうか。

1) <https://hamamatsushi-naika.com/files/165.pdf>

2) [https://www.pref.shizuoka.jp/res/projects/default\\_project/page/001/068/844/2025idwr10.pdf](https://www.pref.shizuoka.jp/res/projects/default_project/page/001/068/844/2025idwr10.pdf)

3) Mazur NI, et al.: Severe respiratory syncytial virus infection in children: burden, management, and emerging therapies. Lancet. 2024 Sep 21;404(10458):1143-1156. PMID:39265587

4) Faosey AR, et al.: Respiratory syncytial virus infection in elderly and high-risk adults. N Engl J Med. 2005 Apr 28;352(17):1749-59. PMID:15858184